

家庭学習の習慣の確立に向けた取組事例



○ 家庭学習の習慣の定着に向けた取組……P1～5

「学習習慣を確立したい」「学校全体で取組を共通化したい」など、家庭学習の習慣の定着に向けた取組を進める際に参考となる事例です。

○ 家庭学習の内容の充実に向けた取組……P6～8

「家庭学習の質を高めたい」「家庭学習に関する児童生徒への指導を工夫したい」など、家庭学習の内容充実に向けた取組を進める際に参考となる事例です。

○ 小中9年間を見通した家庭学習の取組……P9

「小・中学校で取組を連携したい」「9年間を見通して家庭学習の習慣を定着させたい」など、小中9年間を見通した家庭学習の取組を進める際に参考となる事例です。

家庭学習の習慣の定着に向けた取組①

課題とまとめを
枠で囲み、授業で
学習した内容が一
目で分かるように
しています。

授業の振り返りの
場面で、その日
の家庭学習で何に
取り組むのかを
ノートに書かせて
います。

わり算の筆算(2) **課題**

4回折り紙が80まいあります。1人に20まいずつ配ると、何人に分けられるでしょうか。

$80 \div 20 = 4$ 80 はつけない
 $80 \div 20 = 4$ **まとめ**

まとめ
 $80 \div 20$ は10をもとにすると8÷2
しめることができます。
 $80 \div 20$ の商は8÷2の商と等しく
なる!!

授業 → **家庭学習** → **振り返り**

ふ、り、返、り
はいわてわり算の筆算をやった、
むすかしいと思ったから、今日家
庭学習で何問かやってみたいと思
う。
すばらしい!!
ぜんぜんいい!!
(2回)

授業と家庭学習の関連付け

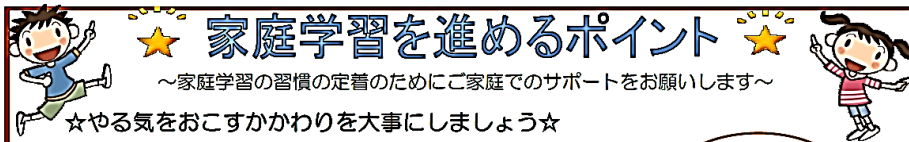
取組のねらい

家庭学習と関連を図ったノート指導や、振り返りの指導などにより、授業で学習した内容の確実な定着と望ましい学習習慣の確立を図る。

取組の概要

- ・ 授業で学習した内容を家庭で振り返ることができるよう、「課題」と「まとめ」を位置付けたノート指導を推進
- ・ 振り返りの場面で、子どもに自身自身の理解の状況を確認させ、その日の家庭学習の内容を計画させる取組を実施

家庭学習の習慣の定着に向けた取組②



★ 家庭学習を進めるポイント ★

～家庭学習の習慣の定着のためにご家庭でのサポートをお願いします～

☆やる気をおこすかわりを大事にしましょう☆

- かわり**
- ・努力を認めたりほめたりアドバイスなど声かけをしましょう
 - ・学習している様子や姿の見守り、マル付けなどをしましょう
 - ・子どもの様子を見ながら一緒にすごしましょう

今日も頑張ってるね!

☆生活のリズムを整えましょう☆

- 生活**
- ・“早寝・早起き・朝ご飯”、“挨拶・返事”など基本的な生活習慣を作ってあげましょう
 - ・手伝いなど、家での役割をどんどんさせましょう
 - ・子どもと話し合い、できそうなことから取り組むようにしましょう

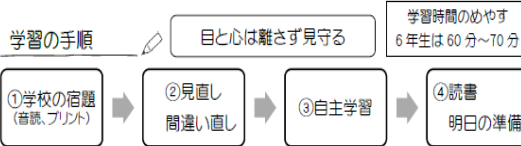
☆学習しやすい環境を作りましょう☆

- 環境**
- ・テレビやゲーム、パソコン等の時間を話し合いましょう
 - ・“ながら”勉強をやめさせ、静かに集中できるようにしましょう
 - ・学習準備や学校からのプリント等、確認の声かけをしましょう

学校からの
お手紙ない?

6年生の家庭学習

予定を立て、自力で学習を進める習慣を身に付けさせる



- 学習の内容
- 音読
 - 古文の題解
 - 模写(教科書・辞句・詩など)
 - 熟語の意味を調べる
 - 計算練習
 - 定規やコンパスなどを使って、いろいろな図形やグラフをかく
 - 学校のノートをまとめなおす
 - テストの復習
 - 日記
 - 読んだ本の感想を書く
 - その日のニュースをまとめる
 - 日本地図や世界地図を書く
 - 歴史上の人物について調べる
 - 歴史の年表を書く
 - 理科の実験の手順や結果をまとめる
 - 植物や動物の絵を正確に描く など
- 身に付けたい力
- 自分の思いが伝わるように音読することができる。
 - 自分の考えを書いたり、話したりすることができる。
 - 漢字の読み書きができる。
 - 敬語や熟語を生活の中で使うことができる。
 - パソコンで集早くローマ字打ちができる。
 - 分数のわり算ができる。
 - 対称図・拡大図・縮図の作図ができる。
 - 比例・反比例を使った問題を解くことができる。
 - 速さ・道のり・時間を使った問題を解くことができる。
 - 世界の主要な国の名前や場所がわかる。
 - 重要な年号や歴史的な事件を説明できる。
 - 理科の実験器具の正しい使い方がわかり、正しく実験することができる。

家庭学習のポイント等を家庭と共通理解できるようにしています。

学年ごとに学習の手順や学習の内容、身に付けたい力、家庭の関わり方等を例示しています。

「家庭学習の手引」でポイント等を例示

取組のねらい

家庭学習のポイント等を明確にすることにより、効果的に学習する方法や自主的に学習する態度を身に付けさせ、学習内容の確実な定着を図る。

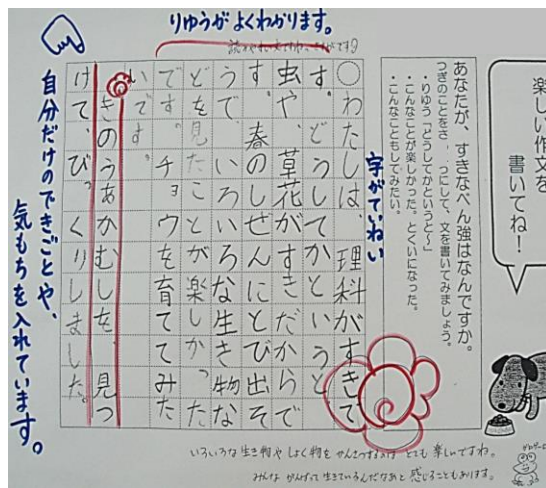
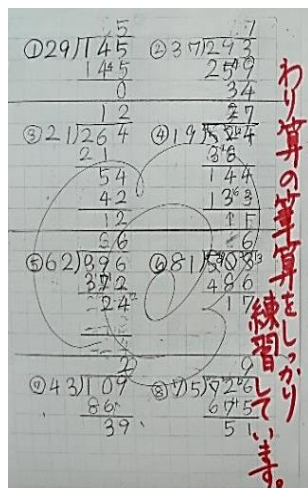
取組の概要

- ・子どもに「家庭学習の手引」を配付し、発達の段階に応じた家庭学習のポイントを例示
- ・近隣の学校間で「家庭学習の手引」の内容を交流し、家庭学習の指導方法を検討

家庭学習の習慣の定着に向けた取組③



廊下に家庭学習コーナーを設置し、家庭学習の内容や優れたノートを紹介しています。



子どもたちの参考になるよう、家庭学習ノートのどこがよいのかを教師が記入しています。

優れた家庭学習の取組の掲示

取組のねらい

優れた家庭学習ノートを掲示することにより、効果的に学習する方法を身に付けさせ、自主的に家庭学習に取り組む態度の育成を図る。

取組の概要

- ・家庭学習が定着するよう、校内に「家庭学習コーナー」を設置
- ・掲示するノートの優れている点を具体的に記入

家庭学習の習慣の定着に向けた取組④

取組のよい点を朱書きしています。

- ・ 授業で理解が不十分だった問題に取り組んでいること
- ・ 授業のまとめで確認したことを自分の言葉で書いていること など

⑨
$$\begin{array}{r} 0.526 \\ + 0.374 \\ \hline 0.900 \end{array}$$

⑩
$$\begin{array}{r} 3.72 \\ + 1.4 \\ \hline 5.12 \end{array}$$

⑮ ①
$$\begin{array}{r} 3.29 \\ + 7.51 \\ \hline 10.80 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 4.52 \\ + 2.48 \\ \hline 7.00 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 0.149 \\ + 0.861 \\ \hline 1.010 \end{array}$$

授業で確認したポイントも
まとめていますね。すばらしいです!

おぼけい
けしおぼけいがない!

小数点も
そろえる。
何もないところは
0も考える。

授業でまちがえた問題も
中心にがんばりましたね!
字もとって書いてねいす。

取組に対する具体的なコメントの記入

取組のねらい

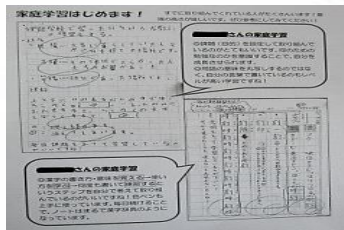
子どもが取り組んだ家庭学習ノートへコメントを記入することにより、家庭学習に対する意欲を高め、家庭での学習習慣の確立を図る。

取組の概要

- ・ 家庭学習ノートにコメントを記入する際の視点を学校全体で共有
- ・ 子どもの取組のよい点を具体的に記入
- ・ 記入したコメントを教員間で交流
- ・ 発達の段階に応じた家庭学習の評価方法を共有

家庭学習の習慣の定着に向けた取組⑤

◆ 教師用ガイドブック ◆



優れた家庭学習の紹介

- ・優れた家庭学習の取組（ノート）と、それに対する学級担任のコメントを掲載している。

家庭学習の取組のヒント

- ・様々な形式の問題を提示することで、授業と関連した内容で家庭学習に取り組みさせることができる。

< その他の内容（例） >

1. 学習意欲の喚起の方法
 2. 具体的な取組の方法
 3. 学校の組織的な取組の方法
 4. 家庭との連携の方法 等
- ※近隣の学校の実践事例も掲載

教師用ガイドブックによる取組方法の共有

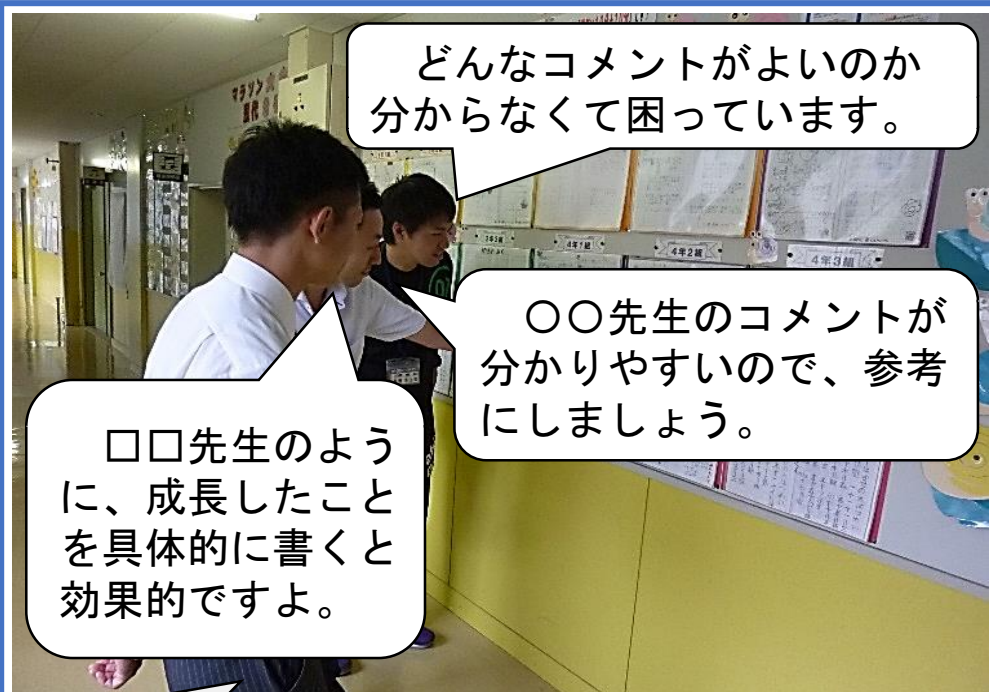
取組のねらい

全教員が発達の段階に応じた家庭学習の在り方について理解し、指導を徹底することにより、学習内容の確実な定着を図る。

取組の概要

- ・子どもの家庭学習の取組について、調査・分析を実施
- ・分析結果に基づき「教師用ガイドブック」を作成
- ・「教師用ガイドブック」の効果的な活用についての研修を実施

家庭学習の内容の充実に向けた取組①



どんなコメントがよいのかわからなくて困っています。

〇〇先生のコメントが分かりやすいので、参考にしましょう。

□□先生のように、成長したことを具体的に書くと効果的ですよ。

掲示した家庭学習ノートの前で、ミドルリーダーから若手教員へ助言しています。

学級担任と教務主任が連携し、学校全体で共有する好事例を決めています。



教員のコメントの質の向上

取組のねらい

教員による家庭学習へのコメントの質を高めることにより、主体的に取り組む態度の育成を図る。

取組の概要

- ・ 子どもの学習意欲と家庭学習の内容の質の向上に向け、家庭学習ノート等にコメントを記入
- ・ 教員間でコメントの内容について協議
- ・ 手本となる家庭学習ノートを掲示

家庭学習の内容の充実に向けた取組②

家庭学習記録カードの活用

取組のねらい

家庭学習の内容や時間を振り返ることができるカードを活用することにより、自ら学ぶ習慣の確立を図る。

取組の概要

- ・家庭学習記録カードを配付し、学級担任が取組状況を定期的に確認
- ＜子どもの取組＞
- ◆毎日、自分で家庭学習記録カードに家庭学習の時間や内容を記入
- ◆家庭学習で取り組んだページ数をポイントに換算して記録
- ◆週末に、取り組んだ教科を振り返り、教科の偏り等がないかを確認
- ◆月末に、家庭学習の取組状況を振り返り、翌月の家庭学習の内容等を計画

○目標とする学習時間（学年×10分+10分）							
(6) 年生: × 10分 + 10分 = 70分							
○家庭学習チェック表(8月)							
日	月	火	水	木	金	土	日
学習した	7	70分	73	90分			
学習した							

日付	教科	内容	印
5/15	国語	1-2字写し	OK
5/16	国語	漢字	OK
5/17	算数	おぼえたいプリント学習	OK
5/18	算数	おぼえたいプリント学習	OK
5/19	算数	熱で宿題だけです。(12分)	OK
5/20	算数	算数	OK
5/21	算数	対称な図形	OK

取り組んだ内容を記録し、取組の状況や課題などを自覚できるようにしています。

日	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4/10	月										
4/11	火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/12	水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/13	木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/14	金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/15	土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4/16	日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

取り組んだ教科を記録し、自分の取組状況を振り返ることができるようにしています。

10日間の目標ポイントを設定

【基本ポイント】

1 ページ：3ポイント
(1/3頁：1ポイント)

【加点ポイント】

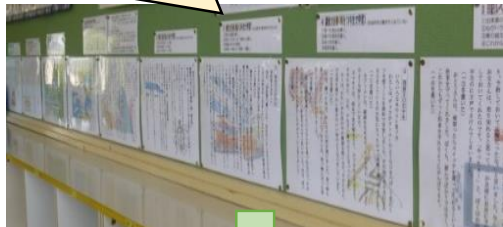
10日間連続提出：5ポイント
加点

★目標経験値 (毎回10P以上で設定)		
65	P	
★経験値記録表 (10日ごとに更新)		
①	5	P
②	5	P
③	5	P
④	10	P
⑤	10	P

自分で目標ポイントを設定して取り組むことにより、達成感や成就感を得られるようにしています。

家庭学習の内容の充実に向けた取組③

教室背面に授業で学習した説明文のモデルを掲示しています。



11 説明文を書く場合(5年生)

- ①何についての説明するのか書く。
- ②自分の立場を明らかにして書く。
- ③そう考える理由を書く。
- ④まとめを書く。

モデル文を参考にして説明文を書いています。



Handwritten notes on grid paper explaining multiplication. It shows the calculation $5.4 \times 1.7 = 9.18$ and explains how to handle the decimal point by multiplying by 100. The text includes: 「小数のかけ算になるように、かけられる数を10倍、かける数を100倍にする。積は100倍になります。」

「家庭学習の手引」に例示されたノートのとめ方を基に、授業の内容に自分の考えを加えて書いています。

学習環境の整備

取組のねらい

家庭学習の参考となる資料の掲示など、学習環境を整備することにより、主体的に家庭学習の質を高めようとする態度の育成を図る。

取組の概要

- ・ 授業で学習した説明文のモデルを子どもに配付するとともに教室に掲示
- ・ 「家庭学習の手引」に「効果的な学習内容」「ノートのとめ方」を例示

小中9年間を見通した家庭学習の取組

同一中学校区の小・中学校で共通の「家庭学習の手引」を作成しています。

中学校区 めざす子ども像
豊かな心で 元気なあいさつ
自ら考え 進んで学ぶ
大志をいだき 未来をひらく
の子ども



中学校

中学校区
家庭学習の手引き



小学校



小学校

【形成期】 小学1年～小学4年
【充実期】 小学5年～中学1年
【成熟期】 中学2年～中学3年

- 1. 基本は『生活習慣』**
早寝・早起き・朝ごはん。
テレビやゲーム、スマホは、時間とルールをきめて…。
- 2. 学習の時間（時刻）を決めて**
毎日の取り組む時間を決める事が習慣化への第一歩。
- 3. 集中できる環境で**
テレビや音楽を消して、きれいな机の上で。正しい姿勢で。
しっかり削った鉛筆を正しく持って。
- 4. 必要な学習内容を見極めて**
5年生以上は、自分で取り組むべき内容を考え、計画的に取り組むことができるように。
- 5. 毎日の積み重ねを自信に**
大人から認め、励まされることが子どもの自信へとつながります。



手引の実現に向けた工夫

家庭学習のススメ

理科、算数、国語（漢字50問）のテストがあります。
復習をしっかりとっておきましょう。
特に「漢字50問」は、よく練習しておきましょう。

教員間で宿題の内容を協議し、学級通信に掲載しています。

小学校と中学校の連携

取組のねらい

小学校と中学校が連携して取組を進めることにより、義務教育9年間を通じた家庭学習の充実を図る。

取組の概要

- ・小・中学校の共通理解に基づき、中学校区で「家庭学習の手引」を作成
- ・学級担任が1週間の授業を振り返りながら、家庭学習の内容を決定し、学級通信に掲載
- ・教員間で打合せを行い、より効果的な家庭学習の内容を検討
- ・小学校と中学校で家庭学習の取組を交流